2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社タカギセイコー	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4242	URL	https://www.takagi-seiko.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	高木　章裕
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理本部長	（氏名）	沖　孝則　　(TEL) 0766-24-5522
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	2026年12月７日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,475	1.3	944	67.2	910	42.7	291	△24.6
2026年３月期中間期	20,207	△7.0	565	1.3	638	9.3	385	199.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,117百万円（　－%）　2026年３月期中間期　△815百万円（　－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	103.87	－
2026年３月期中間期	138.25	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	32,649	16,347	41.3
2026年３月期	32,939	16,058	38.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　13,478百万円　　2026年３月期　12,637百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	25.00	－	25.00	50.00
2027年３月期	－	30.00			
2027年３月期(予想)			－	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,970	1.2	1,990	△7.3	2,040	△14.4	910	△43.7	324.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料P.11「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,822,472株	2026年３月期	2,822,472株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	15,079株	2026年３月期	23,479株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,802,160株	2026年３月期中間期	2,791,577株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……11
（セグメント情報等の注記） ……12
（収益認識関係） ……14
（重要な後発事象） ……14

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国内の物価の高騰、国際情勢による地政学的リスクに伴う原材料・エネルギー価格の高止まりや、米国の政策動向の影響等により先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「国内収益基盤の強化」、「海外収益基盤の強化」、「事業運営基盤の強化」の３つの方針を柱とする事業施策を推進し、様々に変化する事業環境の中においても安定して継続的に事業展開できる企業を目指し事業活動を進めております。

当中間連結会計期間の売上高は20,475百万円（前年同期比1.3%増）となりました。損益面では、営業利益は944百万円（前年同期比67.2%増）、経常利益は910百万円（前年同期比42.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は特別利益の減少及び特別損失の増加等により291百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

売上高につきましては、車両分野及びＯＡ（その他）分野の受注の増加により、11,700百万円（前年同期比5.6%増）となりました。損益につきましては、増収効果等により、営業利益は299百万円（前年同期比90.8%増）となりました。

②中国

売上高につきましては、車両分野に含まれていた連結子会社の出資持分譲渡等により、2,529百万円（前年同期比27.5%減）となりました。損益につきましては、当該持分譲渡等による収益改善の効果もあり、営業損失は166百万円（前中間連結会計期間は営業損失236百万円）となりました。

③東南アジア

売上高につきましては、車両分野における受注の増加により、6,245百万円（前年同期比10.9%増）となりました。損益につきましては、増収効果等により、営業利益は803百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は32,649百万円と、前連結会計年度末に比べ、289百万円減少となりました。

①流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産合計は、16,750百万円となり、前連結会計年度末と比べ、1,069百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少944百万円、売上債権の減少606百万円、棚卸資産の増加524百万円によります。

②固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産合計は、15,898百万円となり、前連結会計年度末と比べ、779百万円増加しました。これは主に、機械装置及び運搬具の減少119百万円、建設仮勘定の増加138百万円、投資有価証券の増加793百万円によります。

③流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債合計は、11,830百万円となり、前連結会計年度末と比べ、507百万円減少しました。これは主に仕入債務の増加45百万円、短期借入金の減少452百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少48百万円によります。

④固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債合計は、4,471百万円となり、前連結会計年度末と比べ、71百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少325百万円、繰延税金負債の増加242百万円、退職給付に係る負債の増加32百万円によります。

⑤純資産

当中間連結会計期間末における純資産合計は、16,347百万円となり、前連結会計年度末と比べ、289百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加221百万円、その他有価証券評価差額金の増加547百万円、非支配株主持分の減少552百万円によります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,203百万円減少し、2,717百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は1,385百万円（前中間連結会計期間は得られた資金594百万円）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益781百万円、減価償却費648百万円等によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は933百万円（前中間連結会計期間は使用した資金1,646百万円）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出771百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出678百万円、定期預金の払戻による収入508百万円等によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は1,678百万円（前中間連結会計期間は使用した資金365百万円）となりました。これは主に、非支配株主への配当金の支払額772百万円、短期借入金の減少445百万円、長期借入金の返済による支出374百万円等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績につきましては、2026年10月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想から変更はありません。今後何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,219	3,275
受取手形	10	－
売掛金	6,812	6,393
電子記録債権	1,353	1,175
棚卸資産	4,134	4,659
未収入金	624	500
その他	665	746
流動資産合計	17,820	16,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,776	2,797
機械装置及び運搬具（純額）	2,580	2,461
土地	6,026	5,987
リース資産（純額）	37	22
建設仮勘定	351	490
その他（純額）	502	453
有形固定資産合計	12,276	12,213
無形固定資産		
ソフトウエア	82	80
その他	29	29
無形固定資産合計	112	109
投資その他の資産		
投資有価証券	2,101	2,895
出資金	60	55
破産更生債権等	8	8
退職給付に係る資産	347	388
繰延税金資産	98	103
その他	442	453
貸倒引当金	△328	△328
投資その他の資産合計	2,730	3,575
固定資産合計	15,118	15,898
資産合計	32,939	32,649

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,628	2,757
電子記録債務	1,362	1,278
短期借入金	4,517	4,064
1年内返済予定の長期借入金	700	651
リース債務	30	21
未払金	835	828
未払法人税等	125	127
契約負債	607	561
役員賞与引当金	33	－
賞与引当金	624	618
災害損失引当金	－	32
その他	873	888
流動負債合計	12,338	11,830
固定負債		
長期借入金	1,578	1,252
リース債務	22	14
繰延税金負債	313	555
役員退職慰労引当金	12	13
退職給付に係る負債	2,539	2,571
その他	77	64
固定負債合計	4,542	4,471
負債合計	16,880	16,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,163	2,163
資本剰余金	1,888	1,892
利益剰余金	6,246	6,467
自己株式	△30	△19
株主資本合計	10,268	10,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	1,313
為替換算調整勘定	954	1,025
退職給付に係る調整累計額	648	636
その他の包括利益累計額合計	2,369	2,974
非支配株主持分	3,421	2,868
純資産合計	16,058	16,347
負債純資産合計	32,939	32,649

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	20,207	20,475
売上原価	17,187	17,074
売上総利益	3,019	3,400
販売費及び一般管理費	2,454	2,455
営業利益	565	944
営業外収益		
受取利息	45	31
受取配当金	20	31
持分法による投資利益	4	－
為替差益	8	－
作業屑売却収入	36	31
助成金収入	8	7
その他	29	14
営業外収益合計	153	116
営業外費用		
支払利息	67	63
持分法による投資損失	－	8
為替差損	－	70
その他	13	8
営業外費用合計	80	150
経常利益	638	910
特別利益		
固定資産売却益	39	6
投資有価証券売却益	40	－
関係会社整理益	138	－
受取保険金	－	2
特別利益合計	217	9
特別損失		
固定資産売却損	17	2
固定資産除却損	62	49
災害による損失	－	85
特別損失合計	79	138
税金等調整前中間純利益	776	781
法人税等	176	217
中間純利益	599	564
非支配株主に帰属する中間純利益	213	273
親会社株主に帰属する中間純利益	385	291

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	599	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	547
為替換算調整勘定	△1,547	9
退職給付に係る調整額	△29	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	△1,415	553
中間包括利益	△815	1,117
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△635	896
非支配株主に係る中間包括利益	△179	220

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	776	781
減価償却費	840	648
関係会社整理益	△138	－
受取保険金	－	△2
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△26	△33
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11	△8
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	0	0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△129	△41
災害による損失	－	85
受取利息及び受取配当金	△65	△63
支払利息	67	63
持分法による投資損益（△は益）	△4	8
固定資産売却損益（△は益）	△21	△3
固定資産除却損	62	49
投資有価証券売却損益（△は益）	△40	－
売上債権の増減額（△は増加）	△7	646
棚卸資産の増減額（△は増加）	144	△484
仕入債務の増減額（△は減少）	254	51
その他	△988	△96
小計	712	1,602
利息及び配当金の受取額	66	62
利息の支払額	△69	△60
災害による損失の支払額	－	△20
法人税等の支払額	△116	△197
営業活動によるキャッシュ・フロー	594	1,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△771
定期預金の払戻による収入	133	508
有形及び無形固定資産の取得による支出	△773	△678
有形及び無形固定資産の売却による収入	24	9
投資有価証券の取得による支出	△2	△0
投資有価証券の売却による収入	51	－
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の売却による支出	△1,083	－
その他	3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,646	△933

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,052	△445
長期借入金の返済による支出	△693	△374
リース債務の返済による支出	△35	△17
配当金の支払額	△55	△68
非支配株主への配当金の支払額	△633	△772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365	△1,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△259	23
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,677	△1,203
現金及び現金同等物の期首残高	5,243	3,920
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,565	2,717

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法等によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	11,084	3,489	5,632	20,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	122	22	―	144
計	11,207	3,512	5,632	20,351
セグメント利益又は損失（△）	156	△236	643	564

注）　１．国又は地域は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)中国…中華人民共和国、香港

(2)東南アジア…インドネシア、タイ

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	564
セグメント間取引消去	0
中間連結損益計算書の営業利益	565

３．報告セグメントごとの資産に関する情報

（連結除外による資産の著しい減少）

当中間連結会計期間において、高木汽車部件（佛山）有限公司及び武漢高木汽車部件有限公司の全出資持分を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度に比べ、「中国」のセグメント資産が4,296百万円減少しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	11,700	2,529	6,245	20,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	93	95	－	189
計	11,794	2,624	6,245	20,665
セグメント利益又は損失（△）	299	△166	803	937

注）　１．国又は地域は、地理的近接度によっております。
　　２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域
　　(1)中国…中華人民共和国、香港
　　(2)東南アジア…インドネシア、タイ

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	937
セグメント間取引消去	7
中間連結損益計算書の営業利益	944

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
成形品事業車両分野	10,295	1,351	5,632	17,278
成形品事業ＯＡ(その他)分野	691	2,138	－	2,830
その他事業	60	－	－	60
顧客との契約から生じる収益	11,047	3,489	5,632	20,169
その他の収益	37	－	－	37
外部顧客への売上高	11,084	3,489	5,632	20,207

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	中国	東南アジア	
成形品事業車両分野	10,751	264	6,245	17,261
成形品事業ＯＡ(その他)分野	872	2,264	－	3,137
その他事業	42	－	－	42
顧客との契約から生じる収益	11,665	2,529	6,245	20,440
その他の収益	35	－	－	35
外部顧客への売上高	11,700	2,529	6,245	20,475

（重要な後発事象）

該当事項はありません。